2026年11月6日

各　位

会 社 名　西日本鉄道株式会社
代表者名　代表取締役社長執行役員　林田 浩一
（コード番号　9031　東証プライム・福証）
問合せ先　広報・CS推進部広報課長　村田 大輔
（TEL： 092－734－1217）

連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2026年５月14日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と本日公表の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	243,000	11,100	9,900	10,000	131.64
実績値（B）	243,971	14,608	15,109	14,711	194.75
増 減 額（B－A）	971	3,508	5,209	4,711	―
増 減 率（％）	0.4	31.6	52.6	47.1	―
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	223,516	14,313	14,378	16,526	216.25

※当中間連結会計期間の期首より、管理区分を変更し、報告セグメントを変更しています。
なお、前中間連結会計期間の情報については、変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

（差異の理由）

営業収益は、不動産販売事業でマンション販売戸数の減少などにより減収となった一方、国際物流事業での輸出入取扱高が増加したことなどにより、前回予想を上回りました。

営業利益は、不動産賃貸事業での歩合賃料の増加や、鉄道事業での旅客人員の増加に加え、モビリティ業や不動産業で費用の発生が一部下期以降になったことなどにより、前回予想を上回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は、営業利益の増加に加え、持分法による投資損益の改善などにより、前回予想を上回りました。

以　上